その他タイプ

特定仕様

遮音タイプ

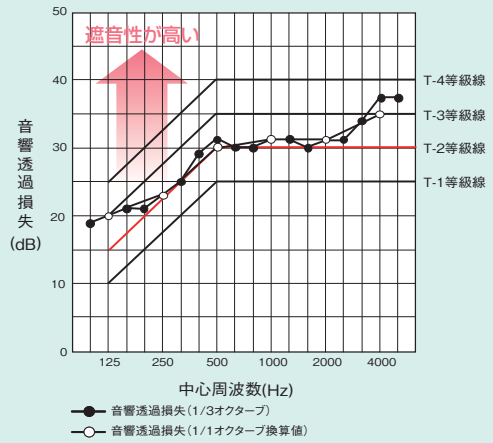
AC 手動 傾斜レール 単独自閉 ロック装置 全開時ストッパー トイレ用表示錠 診察室 相談室

特　長

- T−2 等級の遮音性能を有するタイプです。
- 約 30dBの音をカットすることができます。(500Hzの中心周波数時)
- 診察室、洗濯室、相談室、面会室などの音を防ぎたい部屋に最適です。
- 気密材で隙間を少なくしていますので、コンピューター室のような埃の進入を防ぎたい部屋にも使用できます。

※気密性能Ａ−3等級が必要な時は、別途セミエアタイトタイプをご用意しております。
※気密材は消耗部材です。性能維持のため、定期的な交換が必要です。気密材の交換は有償となります。
※扉開閉時の摩擦によるパッキンクズが発生しますので、定期的に、掃除機などで掃除を行ってください。
※使用ガラスと窓サイズにご注意願います。

●遮音性能試験結果



ドアユニットでの試験値です。
実際の遮音性能は、天井・壁・床などの性能にも影響されますので、ご注意願います。

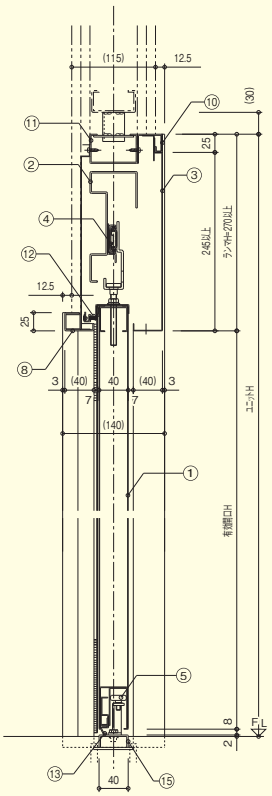
試験状況写真

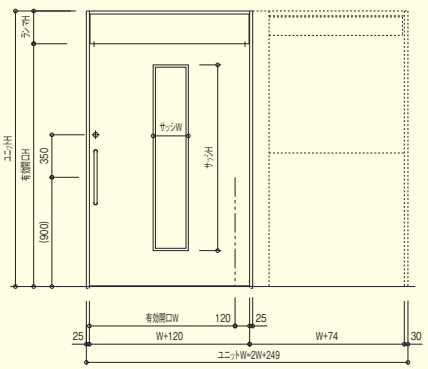
●遮音性能試験結果

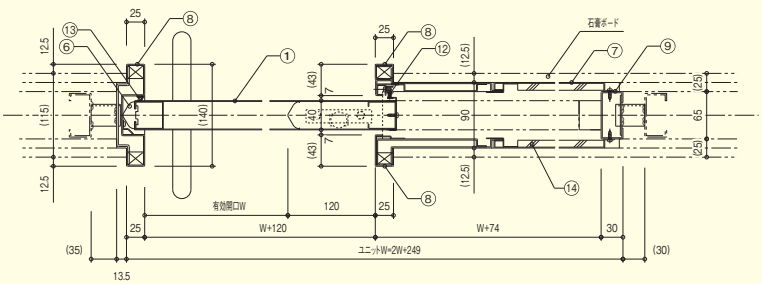
騒音レベル	一般例	感じ方
90〜100dB(A)	電話のベル、電車が通るときのガードの下	極めてうるさい
70〜80dB(A)	地下鉄車内、騒々しい工場の中	うるさい
50〜60dB(A)	会話、テレビやラジオの音	日常騒音
30〜40dB(A)	ささやき声、病室	静か
10〜20dB(A)	呼吸音、降雪音	極めて静か

T-2(30 等級)の扉は 60dB の騒音を 30dB のささやき声程度まで弱くすることができます。
診察室で使用した場合、診察室内の会話が 50〜60dB程度ですので、廊下側では、ささやき声程度の会話になります。
但し、ささやき声程度は聞こえますので、室外が静かな状況、特に中待合を設けている場合では、会話内容が全くわからないわけではありません。

遮音タイプ







仕　様

・自閉装置(レール傾斜式)及びブレーキ装置は、標準装備とする。	
・有効開口幅をW(600≦W≦1350)とする。	
・窓付の場合は、ガラスをコーキング施工とする。	
・窓付の場合、窓面積はサッシ外寸(WXH)で0.45m²以内とする。ガラスはT-2等級適合品(t6)を使用すること。	
	部材名 / 材質・板厚等
①	ドアパネル / 表面材(SPCC t=0.6)、芯材(ペーパーコア)
②	レール取付材 / SGCC又はSGHC t=1.6
③	ランマパネル / SECC t=0.8
④	レール / アキュライドレール(ボールベアリング式)
⑤	ガイドローラー / 樹脂製
⑥	戸当りゴム / 塩ビ系樹脂押出し材
⑦	ボード下地材 / SGCC又はSGHC t=1.6
⑧	出入口枠 / SGCC又はSGHC t=1.6
⑨	側枠 / SGCC又はSGHC t=1.6
⑩	上枠 / SGCC又はSGHC t=1.6
⑪	上補強 / SGCC又はSGHC t=1.6
⑫	パッキン / フィン付モヘア
⑬	パッキン / 天然ゴム
⑭	せっこうボード / t=9.5
⑮	framing / SUS t=2.0